

国内企業 航空機に商機



初飛行を終え、名古屋空港に着陸したMRJ（手前）（11日午前、愛知県小牧市）＝中根新太郎撮影

MRJが1時間半の初飛行を終えた後、林経済産業相は、「日本の航空機産業の新たな時代の幕開けであり、大変喜ばしい」とコメントを発表した。

MRJ初飛行

川崎重「777X」新工場

ホンダ 小型ジェット開発

国産初のジェット旅客機「MRJ（三菱リージョナルジェット）」が11日、初飛行に成功した。日本企業はこれまでも欧米メーカー向けに航空機部品の開発・製造に取り組んでおり、MRJが軌道に乗れば、航空機産業の拡大が期待できそうだ。（秋田穂、井戸田崇志、本文記事1面）



国内メーカーが生産する主な民間航空機製品

三菱重工業	小型ジェット機、主翼やエンジン部品
川崎重工業	胴体やエンジン部品
IHI	エンジン部品
富士重工業	中央翼
ホンダ	ビジネスジェット機

日本に航空機産業を根付かせるには民間だけではなく、政府による後押しも欠かせない。

MRJの試験飛行の成功を受け、政府は同機の受注を扩大に向けた取り組みをこれまで以上に積極化させた。航空機の取引には各国

政府トップセールスで支援

部品メーカー育成課題

政府が関与するケースも多く、首脳間の話し合いで受注が決まることがあるからだ。菅官房長官は11日の記者会見で「トップセールスなどを通じ、政府としても

支授していく」と述べた。MRJは部品の多くを輸入品に頼っており、手薄となっている空調や油圧システム、内装などを手がける

川崎重工業はボーイング支援していく」と述べた。MRJは部品の多くを輸入品に頼っており、手薄となっている空調や油圧システム、内装などを手がける

川崎重工業はボーイング支援していく」と述べた。MRJは部品の多くを輸入品に頼っており、手薄となっている空調や油圧システム、内装などを手がける

川崎重工業はボーイング支援していく」と述べた。MRJは部品の多くを輸入品に頼っており、手薄となっている空調や油圧システム、内装などを手がける